

# JR東日本の技術研修に協力 川岸工業千葉第一工場で『製作工場研修』

■ ■ SASST ■ ■



溶接の実技を体験

している。  
 今年度の製作工場研修にはJR東日本の若手技術者6人が参加。午前中に鉄骨製作の動画を視聴したの続き、SASSTの羽石良一専務理事による鉄骨の品質管理および工事監理の要点についての講義を受けた。午後からは工場内で鉄骨製作各工程を見学したほか、被覆アーク溶接とガスシールドアーク溶接の実技を体験。さらに、検査のための試験の原理およびその方法や入熱・パス間温度の管理方法について説明を受け、各種非破壊試験機器の操作も体験した。

なお、今年度のJR東日本の鉄骨研修は9月中旬から計6日の日程で計画されており、これまでに『構造概論』、『溶接1、2』、『H TB、柱脚』、『製作工場』の各講義・研修を実施。今月11日に神鋼ボルト本社工場(千葉県市川市)で行われる『高力ボルト』研修をもって全プログラムを終了することになる。

月24日には千葉県柏市の川岸工業千葉第一工場で『製作工場研修』を実施した。SASSTでは、会員をはじめとする一般企業を対象に「人材育成支援事業」を展開しており、JR東日本の同アカデミーにも2009年以降、毎年協力し、若手技術者に鉄骨製作の基礎や管理の要点などを指導

している。  
 今年度の製作工場研修にはJR東日本の若手技術者6人が参加。午前中に鉄骨製作の動画を視聴したの続き、SASSTの羽石良一専務理事による鉄骨の品質管理および工事監理の要点についての講義を受けた。午後からは工場内で鉄骨製作各工程を見学したほか、被覆アーク溶接とガスシールドアーク溶接の実技を体験。さらに、検査のための試験の原理およびその方法や入熱・パス間温度の管理方法について説明を受け、各種非破壊試験機器の操作も体験した。



管理のポイントなど学ぶ

## 協「台風15・19号対策本部」を設置 被害状況を調査、支援策検討へ

全国鐵骨工業協会(会長 川米森昭夫・ヨネモリ会 長)は、台風15・19号に伴

う組合構成員の被害が甚大であったと予想されることから、10月16日に開催した三役会で「台風15・19号緊急災害対策本部」の設置を決めた。

同本部は本部長に伊藤佳治理事(京都府鉄骨工業協同組合理事長)、委員に渡辺勝理事(福島県鉄骨工業組合理事)、大竹良明理事(群馬県鐵骨業協同組合理事長)で構成する。

現在は組合構成員の被災状況を調査中で、その結果を踏まえて必要な支援策を検討していく。



# コラムカプラ

角形鋼管柱 現場無溶接継手工法



施工標準図ダウンロード



未来をフルサポート  
フルサト工業